

## 第3期まちづくり市民会議（第3回）議事録

---

■日 時	2013年6月20日（木） 午後7時～午後9時
■場 所	太田市役所 10階 政策推進会議室
■出席者	委 員 福島会長、石倉副会長、川原委員、瀬下委員、竹内委員、 中本委員 事務局 前原係長、富岡係長代理

---

### 【目 的】

- ・各委員の意見を基に、基本条例変更の必要性についての検討を行う

### 【会議概要】

#### 1. 協議事項

##### （1）基本条例の変更の必要性について

- 各委員から提出された意見等についての概要資料に基づき、テーマごとに協議を行う。

##### テーマ①：太田らしさを盛り込んだ条例の検討

- ・制定した当時の考え方を理解した上で、条例見直しの判断基準により、制定当時と社会環境・状況が変化により、条例改正や新たな規定整備が必要なのか検証したい。
- ・具体的には、危機管理における市民の役割、教育関係の項目及びクリーンエネルギーによるまちづくりなどを条例に明記して太田らしさを盛り込んではどうか。
- ・クリーンエネルギーについては、太田市で積極的に取り入れていることから、条例の項目として必要か否か検討していきたい。
- ・産業界が求める人材の育成の考え方であるが、逆にしっかりとした教育を受けたものが産業界で必要とされるのではないか。

##### テーマ②：議会の役割と責務、議会基本条例の制定

- ・他の自治体の基本条例に比べて市議会についての記述が少ないように感じる。
- ・基本条例策定の段階でも議論となったが、市民の信託（選挙）を受けて議員になったわけだから、基本条例の中で具体的な活動を記述することは失礼にあたる、議員自らが活動してもらうことを期待してあえて少ない記述となっている。
- ・議会基本条例制定にあたっては、議会に投げてしまうのではなく、別の機関の活用も検討してはどうか。
- ・議員自ら制限をつくるのは難しい。そういった部分では第三者委員会などで

検討することも考えられるが、議員の責務として作り上げることを希望している。

- ・この基本条例では、議員を制約することまで踏み込むことはするべきではないと考えている。
- ・議会基本条例の制定については、議員自らが活動してもらおうようもう一度要望してはどうか。  
現在行われている「議会改革調査特別委員会」の改革内容は、「議会基本条例」の制定に向けての議論に至っていない。

#### **テーマ③：男女共同参画のまちづくり**

- ・市役所内の人事にいかん反映されているか、部課長登用実績について確認したい。女性の登用が遅れているのは、行政や議会である。
- ・能力のある人を活用できる体制ができていないように感じる。
- ・女性の登用が少ないことについて、何が問題なのか突き止めてみることも必要ではないか。
- ・女性が働ける環境をつくらないことには、男女機会均等にはなかなかならないのではないか。
- ・全てに対して男女同数にすることが理想であるとは思わない。

#### **テーマ④：事後評価について**

- ・施策の評価については、外部評価を導入・推進する必要がある。
- ・施策の5年後、10年後の評価を市民に公表すべきである。
- ・行政で実施している事業で、事後評価をし、市民に公表した記憶はない。

#### **テーマ⑤：区長会・町内会の改革について**

- ・区長の選出について、市全体で選出方法などを考えていきたい。
- ・第1期まちづくり市民会議では「町内会活動への参加」を促すような条例改正の提案を行った経緯がある。

その場合、市民から「町内会・区長会は何を行っている組織なのか？」との疑問がわいてくる、そのためにも区長会・町内会のあるべき姿を追い求めて行く必要がある。これからも改革していく必要があるのかもしれない。

#### **テーマ⑥：条例制定後6年経過した中で、具体的に進んでいないものへの検証**

- ・なぜ制度化が進んでいないのか、具体的に進んでいないものの検証を行いたい

第2条：他の条例・規則等の整合性について、制度化、担保されているのか

第10条：どのような参画制度が整備されているのか

第20条：主要事業とはどのようなものか、外部評価の実施事例があるのか

#### **テーマ⑦：住民投票**

- ・住民投票において、市政にかかわる重要事項とはどのようなものか。住民投票を条文に載せた理由はこういったものだったのか。
- ・東京都小平市の事例では、投票率50%以下の場合是不成立としている。住民投票についてあえて条文に入れておく必要はないのではないか。

- ・可能性として入れているのであって、不都合なことはないと思う。
- ・住民投票制度は、テーマにより投票方法・対象者（外国人を含めるか・対象年齢は）を決めて行けばよいことである。
- ・住民投票の制度は、使わないにこしたことはないが、制度を持っておかないと市民の意向を反映する手段が少なくなってしまう。

#### テーマ⑧：安全で安心なまちづくり

- ・第1期まちづくり市民会議の提言「安全・安心で快適に暮らせるコンパクトなまちづくり」の実現が不十分である。
- ・太田市全体を見た場合は、周辺に自治体よりバランスの取れたまちになっているが、地域別・行政区別で見ると年齢別人口構成グラフに大きなひずみが生じている。  
そのため、高齢化率の高い地域、中心市街地の空き家空地の増加もそれが原因の一部と考えられる、そのようなことも今後の課題である。

#### テーマ⑨：財政

- ・太田市の財務状況の公表は、以前に比較して非常によくなっている、しかし各費目の中身がわからない、財政硬直化率も95%超の高いままである、各行政部門ごとに施策として実施している（①交付金②助成金③委託金④負担金⑤補助金等）の実態を確認したい。このことが無駄の排除に繋がるものと考えている

## 2 その他

### （1）第4回会議の計画

- ・条例の変更をする場合には、12月までに変更案を作り上げなくてはならない。タイトなスケジュールとなっているので、会議以外の部分でも連絡を密にとりながら進めていきたい。
- ・次回会議では、条例変更の可否判断を行いたい。
- ・議論の後戻りはしない方針で進めていきたい。

#### ■次回会議

第4回まちづくり市民会議

【日時】 7月18日（木） 午後7時～

【場所】 太田市役所10階 政策推進会議室